



**「消滅自治体」は都会の子が救う**  
三浦清一郎／日本地域社会研究所

平成28年度公民館大会講師の作品！地方創生の歯車を回したのは「消滅自治体」の公表。日本の均衡発展は、企業誘致でもなく村おこし・町おこしの補助金でもない。「義務教育の地方分散授業」の制度化だ！それゆえ、過疎を救うのは都会の子どもである。



**大雪物語**  
藤田宜永／講談社

著者自らの罹災体験をもとに、家族・男女を描く珠玉の六編。想定外の雪が生んだ奇跡の出会い。記録的な積雪に見舞われたK町で起きたこと。得難いあの体験が、これらの物語を紡がせてくれたと作者は言っています。大雪に関する短編小説を是非手にしてください。



**金山杉俳句会報 第四〇〇回**

寒玉子つるりと飲んでまだまだと  
古里の便り届けり今年米  
えり巻に首すっぽりと今日百歩  
くれないの短冊選ぶ筆はじめ  
悔少し残る日捲り十二月  
二次会はホットコーヒー年の暮

セイ子  
サダエ  
敏子  
恵美子  
よし子  
順子

**かねやま紅風会**

荒屋 阿部 勝子  
彼方より喪中欠礼年の暮  
約束の電話を待てり冬の月  
荒屋 関 喜美子  
年の花嬉々と眺める老ふたり  
悔ひ多き古希の道なり年の夜  
菅 越 庄司けみ子  
間食の菓子に追はれり冬休み  
反省の残る余白や日記果つ  
七日町 青柳キエ子  
検査機の器具冷たかり師走とて  
一ト刻の写経へ感謝冬銀河

七日町 柴田 栖静  
年の花活けて安堵の茶の香り  
復興の進む駅舎の松飾り  
羽場 坂本徳太郎  
白極む芒ばかりの遊歩道  
宅配便行き交ふ街の師走かな  
上 台 阿部 一  
八十の腰をなだめて雪を掻く  
松過ぎて留守居の老の気儘かな  
七日町 村松 恣風  
連句「歳旦三ツ物」独吟  
米寿てふ閑をいたゞく今朝の春  
恵方の龍馬(山) 威風堂々  
色づきし寒梅友は自慢気に

**新刊図書 2月**

神仙の告白／仁木英之  
九十歳。何がめでたい／佐藤愛子  
慈雨／柚月裕子  
おまつり万歳！／たかぎなおこ  
挫折を経て、猫は丸くなった／天久聖一  
成功している人は、なぜ神社に行くのか？／八木龍平  
蜜蜂と遠雷／恩田陸  
羊毛フェルトで作るブサかわアニマル／ぴー太郎左右衛門  
重ねるだけでおいしい スコップケーキ／西山朗子  
マグカップケーキ／本間節子  
みかづき／森絵都

**森の子ども図書 134 交流サロンぽすと内 12:30~17:00**



**『ないしょでんしゃ』**  
(薫くみこ／作 かとうようこ／絵 ひさかたチャイルド)

森の鉄道は、お山に雪が降るとお休みになります。「もりのひろば駅」には看板がかけられ、たくさんの動物さんが電車と駅の大そうじをしました。駅長さんがホッと一息ついて居眠りしている間に、赤い電車はゆっくり雪山の方へ登っていきます。駅長さんの知らない駅に停まり、お客さんはたくさんの雪だるまさんが！ナイショ ナイショ という音を鳴らしながら電車はどこまで行くのでしょうか？この絵本にはたくさんの仕掛けがあります。そして、おさるさんの服や雪だるまのボタンの色を見ると、あれ～なんか不思議だね。